



令和5年度第1回船橋市子ども・子育て会議

子ども・子育て支援に関する アンケート調査について

令和5年8月9日(水)

健康福祉局 こども家庭部こども政策課

子ども・子育て支援に関するアンケート調査について

背景

- ◆ 現行の第2期子ども・子育て支援事業計画が令和6年度に期間満了となるため、次期計画を策定する。
- ◆ 「ひとり親家庭等自立促進計画」、「子どもの貧困対策計画」を子ども・子育て支援事業計画と統合。
- ◆ 新計画の策定に向け、新たな計画期間の「**量の見込み**」や「**確保方策**」の設定、子どものいる世帯の「生活状況の調査」を実施する必要がある。

【子ども・子育て支援事業計画の量の見込みの設定について】

- **保護者に対して、「計画に位置付けられる事業」の今後の利用意向を調査。**
⇒具体的な目標（確保方策）の設定を行う。

【子どものいる世帯の生活状況調査について】

- **子どものいる世帯のおかれる状況・所得の違いによる生活状況と施策のニーズを調査。**
⇒ひとり親家庭等自立促進計画及び子どもの貧困対策計画の方向性及び今後の施策の検討を行う。

目的

新たな計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施。

子ども・子育て支援事業計画の「量の見込み」の基本的な考え方

1. アンケート調査により量の見込みを設定する予定の項目

(1) 教育・保育

- ◆ 1号
- ◆ 2号（教育利用意向/保育認定）
- ◆ 3号（0歳/1～2歳）

(2) 地域子ども・子育て支援事業

- ◆放課後児童健全育成事業
- ◆時間外保育事業
- ◆子育て短期支援事業
- ◆一時預かり事業
- ◆地域子育て支援拠点事業
- ◆病児保育事業
- ◆ファミリー・サポート・センター事業

（その他の事業は、児童推計や実績をもとに算出）

2. 量の見込みの算出方法

アンケート調査の結果などをもとに、「**国の手引き**」(※)により算出する。

➤ したがって、**国の手引きにおいて、算出に必要となる項目について調査を実施。**

※「市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等のための手引き」及び、「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等のための手引き」

・子ども・子育て支援事業計画における量の見込みの標準的な算出方法を示したもので、**今年度前半を目途に、新計画策定に向けた改正が行われる見込み。**

ひとり親家庭等自立促進計画について

概要

- ・ひとり親家庭等の生活の安定と向上のため、自立支援を総合的に推進する計画。
- ・現行の計画は、令和2～6年度を計画期間とする第4次計画。
- ・船橋市総合計画に基づき、関連計画との調和を図るとともに、国の基本的方針である、「子供の貧困対策に関する大綱」の趣旨を踏まえた計画としている。

子どもの貧困対策計画について

概要

- ・平成30年に実施した子どもの生活状況調査から明らかになった課題について、本市の基本理念やめざす姿を示した。
- ・「親子のしあわせ応援プロジェクト」として令和2年3月に策定し、関連施策の推進を図る。
- ・関連計画の見直しに伴い、子どもの生活状況調査を実施するにあたり、見直しを図る。



子ども・子育て政策に係る計画として関係が深いため、一体のものとして策定。

保護者向けアンケート調査の対象（予定）

調査対象	調査の趣旨・目的	件数	抽出方法	(参考) 前回の 回収率
就学前子どもの保護者	教育・保育の量の見込み、地域子ども・子育て支援事業の事業見込み算定にあたり、利用実態や今後の利用希望を調査するため。	6,000	住民基本台帳から無作為抽出	53.9%
小学校1年生～6年生の保護者		3,000	住民基本台帳から無作為抽出	51.3%
中学校1年生～高校3年生の保護者	子どものいる世帯の家庭環境や、生活状況を調査し、本市の計画の方向性や施策のあり方を検討するため。	3,000	住民基本台帳から無作為抽出	—
ひとり親世帯（就学前子どもの保護者）	ひとり親世帯の家庭環境や、生活状況を調査し、本市の計画の方向性や施策のあり方を検討するため。	4,000	全数調査	38.0%※
ひとり親世帯（小学校1年生～6年生の保護者）				
ひとり親世帯（中学校1年生～高校3年生の保護者）				
母子健康手帳交付者（第1子）	教育・保育の量の見込み、地域子ども・子育て支援事業の今後の利用希望を調査するため。	600～ 800	初めて妊娠届出書を提出された方など	38.0%

※平成30年度実施の船橋市の子供のいる世帯の生活状況等に関する調査の回収率

子ども向けアンケート調査の対象（予定）

調査対象	調査の趣旨・目的	件数	抽出方法	(参考) 前回の 回収率
小学校5年生～6年生の子ども	子どものおかれる家庭環境や、生活状況を調査するとともに、子ども自身の「声」を聴取し、本市の計画の方向性や施策のあり方を検討するため。	1,000	住民基本台帳から無作為抽出	43.5%※
中学校1年生～高校3年生の子ども		3,000	住民基本台帳から無作為抽出	
ひとり親世帯の小学校5年生～6年生の子ども		3,000	全数調査	32.3%※
ひとり親世帯の中学1年生～高校3年生の子ども				

※平成30年度実施の船橋市の子供のいる世帯の生活状況等に関する調査の回収率

◆ 調査の内容について・・・2期計画策定時より、以下の変更を行う。

①新たに追加する項目・調査対象等

- ・ 国手引きの改正事項
- ・ 「ひとり親家庭等自立促進計画」、「子どもの貧困対策計画」に係る事項
- ・ 中高生保護者調査、ひとり親調査、子ども調査
- ・ インターネット上の回答フォーム

②削除する項目・調査対象

- ・ 計画策定に不要な設問
 - ・ 事業所調査
- ⇒アンケート調査を行わない。別途資料参照

アンケート調査のスケジュール

時期（予定）		内容
令和5年	7月	「調査票骨子案」の作成（※前回調査票をベースとした設計）
	8月	子ども・子育て会議 ・「調査票骨子案」について意見聴取
	9月	会議での意見等を反映し、「調査票案」を作成
	10月末頃 ～11月頃	子ども・子育て会議 ・「調査票案」について意見聴取 ⇒ 調査票を確定
	12月頃	アンケート調査実施
令和6年	1～3月	調査結果の集計・分析 ⇒ 量の見込み算定

第3期計画策定に向けた全体スケジュール（予定）

令和5年度	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スケジュール	アンケート調査票の作成				アンケート調査実施	調査結果集計 「量の見込み」の検討			
会議での審議事項 (3~4回程度)		調査票骨子案		調査票案				調査結果(速報値)	

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
スケジュール	「確保方策」の検討					「量の見込み」の検討			計画素案・計画原案の作成			パブリックコメント	結果反映	計画策定
会議での審議事項 (4~5回程度)		施策体系			量の見込み、確保方策			計画素案				パブコメ結果報告		

- ※ 会議での審議事項は、計画策定に関するものを抜粋
- ※ 開催回数は、現時点での見込み

この間で、2~3回の開催を予定